

第97回日本細菌学会総会

# 市民公開講座

## 感染症と食中毒の謎を知る

参加  
無料

事前申込  
不要

現地開催  
+  
WEB配信  
(Zoom)

WEB視聴は  
こちらから↓



講演者 (講演順)

佐藤 寿夫 室長 (株式会社日本微生物研究所精度管理)

児玉 年央 教授 (長崎大学熱帯医学研究所細菌学分野)

横田 伸一 教授 (札幌医科大学医学部微生物学講座)

8月6日 2024 16:00~18:00  
火 (開場 15:30 予定)

最寄り駅：地下鉄東西線、東札幌駅より徒歩8分

札幌コンベンションセンター 1F 中ホール 1/2 (第3会場)

協賛



登録衛生検査所  
株式会社 日本微生物研究所



お問い合わせ

第97回日本細菌学会総会事務局 TEL: 03-3230-2744 E-mail: jsb2024@aeplan.co.jp

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋ビル別館 4F 株式会社エー・イー企画内

# 感染症と食中毒の謎を知る

現地会場に直接お越しになる方 事前参加申込は不要です。直接会場にお越しください。

Webにて視聴される方 右のQRコードよりアクセスください。Zoomでの視聴になります。



## プログラム

座長：横田 伸一 教授（札幌医科大学医学部微生物学講座）

16:00 ~ 16:40

### 無症状感染者拡大とその早期発見・早期改善

—食品衛生法・大量調理施設衛生管理マニュアル検査の無症状感染者拡大とその早期発見・早期改善に向けて—

佐藤 寿夫 室長（株式会社日本微生物研究所精度管理）

現在、多くの感染症が季節外れや例年以上の流行を起こしています。その状況は、弊社が実施しています食品衛生法に基づく検便検査等の無症状感染者増加にも表れています。新型コロナウイルスのパンデミックによる徹底した消毒、陽性者の隔離等の感染防御は、私たちが既に獲得していた免疫の活性化サイクルを乱し、免疫力の低下を招いたという見解を述べられる先生方もおります。又、多数回に及ぶ mRNA ワクチン接種が、IgG4 抗体産生を亢進させ免疫力を低下させたとの研究報告もございます。いずれにしろ無症状感染者の急増する弊社統計データにより、無症状感染者を早期に発見し早期改善に向けた対応等が必要であることをお話し致したいと考えております。

佐藤 寿夫（さとう としお）  
日本微生物研究所 精度管理室長  
1959年 福島県いわき市生まれ。  
1982年 東北大学医療技術短期大学部衛生技術学科卒業。  
1982～  
1991年 仙台赤十字病院検査部で主に細菌検査に従事  
1991年から 日本微生物研究所  
宮城県臨床検査技師会では理事を務め精度管理部長、広報部長、微生物検査研究班班長を担当した

16:40 ~ 17:20

### 食中毒よもやま話

児玉 年央 教授（長崎大学熱帯医学研究所細菌学分野）

清潔でクリーンといわれる日本ですが、未だに多くの食中毒事例が報告されています。食中毒の原因は様々ですが、大部分は細菌やウイルスといった微生物によるものです。では、食中毒にならないためにはどのようなことに気をつけたらいいのでしょうか？食中毒の原因となる細菌の特徴と正しい予防法についてお話ししたいと思います。

児玉 年央（こだま としお）  
長崎大学熱帯医学研究所 教授  
1972年 福井生まれ。  
1995年 北海道大学理学部第二化学学科卒業。  
1998年 大阪大学大学院医学系研究科修士課程。修士（医学）。  
2002年 大阪大学大学院医学系研究科博士課程。博士（医学）。  
2002年 大阪大学微生物病研究所細菌感染分野助手。  
2007年 同助教。  
2014年 大阪大学微生物病研究所病原微生物資源室講師。  
2015年 大阪大学微生物病研究所細菌感染分野准教授。  
2020年から 現職。  
専門は病原細菌学。

17:20 ~ 18:00

### 感染症はなぜ流行る？ コロナから学んだこと

横田 伸一 教授（札幌医科大学医学部微生物学講座）

新型コロナの世界的大流行によってわたくしたちは否が応でも感染症について考えさせられました。世の中には多くの感染症が存在し、様々な方策を講じながらわたくしたちは感染症と共存してきました。コロナ禍の過剰なまでの感染対策はその共存関係にも影響を及ぼしたようです。今感染症はどのような状況にあるのかを私見もまじえながらお話しします。

横田 伸一（よこた しんいち）  
札幌医科大学医学部微生物学講座 教授  
1962年 東京生まれ。  
1985年 北海道大学理学部化学科卒業。  
1987年 同大学院理学研究科修士課程修了。理学修士。  
1987～  
2000年 住友化学工業、住友製薬など民間企業でバイオ医薬の研究開発に従事。  
1991年 薬学博士（東京大学）  
2000年 札幌医科大学医学部微生物学講座講師。  
2004年 同助教。  
2007年 同准教授。  
2013年から 現職。  
専門は微生物学、感染症学。